

(令和元年度)
事業報告書

学校法人 足立学園

目 次

1. 法人の概要

(1) 建学の精神	1
(2) 設置する学校・学部・学科等	1
(3) 沿革	2～3
(4) 組織図	4
(5) 設置学校の収容定員・学生数等	5
(6) 役員・教職員等	6

2. 事業の概要

(1) 愛知文教大学	7～9
(2) 愛知文教女子短期大学	10～14

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移	15
(2) 事業活動収支計算書の推移	16
(3) 活動区分資金収支計算書の推移	17
(4) 貸借対照表の推移	18
(5) 令和元年度事業活動収入及び支出の構成比	19
(6) 主な財務比率の推移	20
(7) その他 財務諸表の説明等	21

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「質実にして知性高く、宗教的情操を身につけた真人を育成する」

(2) 設置する学校・学部・学科等

愛知文教大学	大学院	国際文化研究科
	人文学部	人文学科

愛知文教女子短期大学	生活文化学科
	幼児教育学科第一部
	幼児教育学科第三部

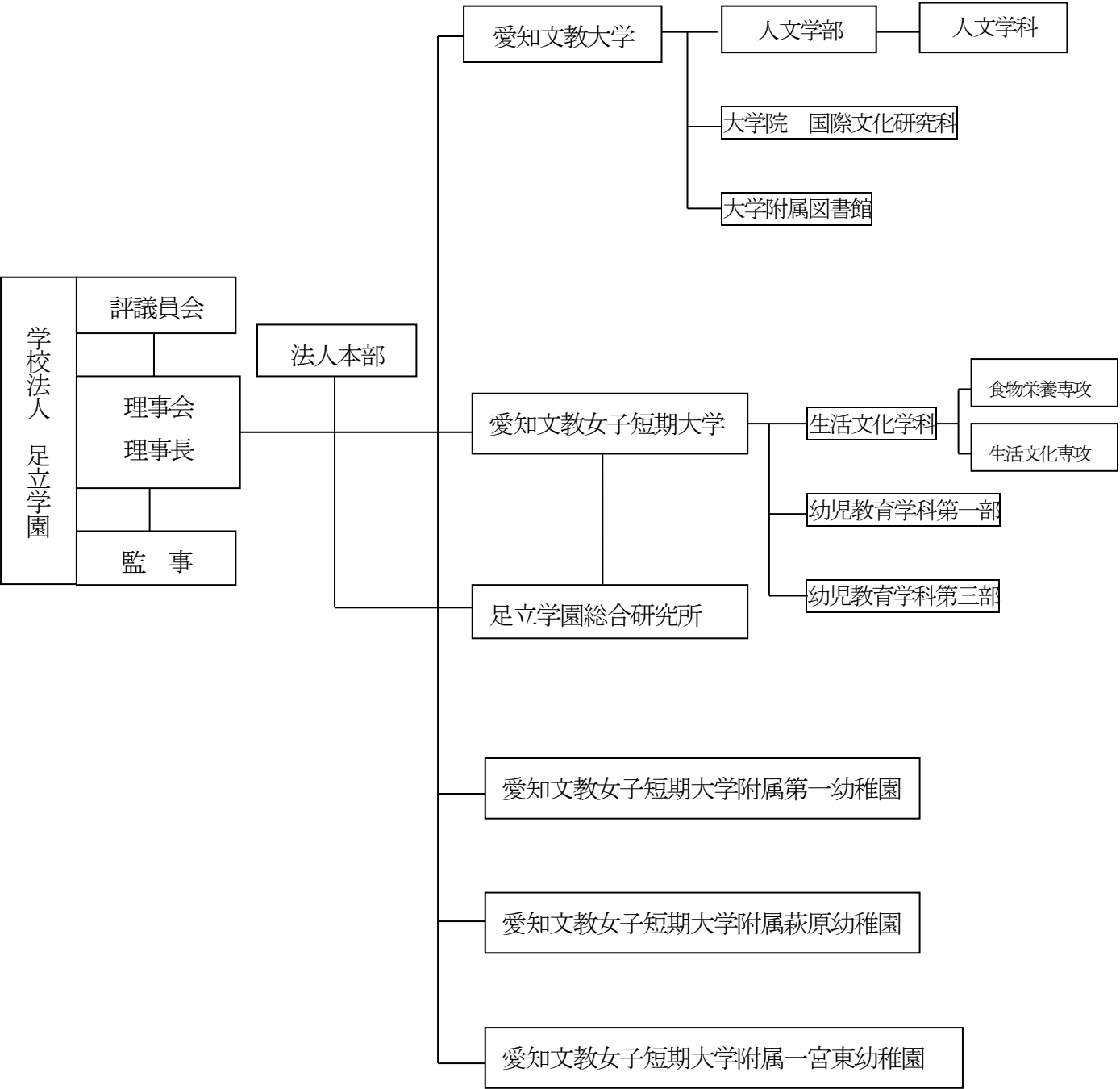
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園

(3) 沿革

昭和 26 年 3 月	稲沢女子短期大学設置認可 家政科第 1 部設置認可
昭和 27 年 2 月	家政科第 2 部設置認可
昭和 31 年 2 月	稲沢女子短期大学附属第 1 幼稚園設置認可
昭和 32 年 4 月	家政学科第 1 部、栄養士養成施設として指定
昭和 38 年 3 月	生活デザイン科設置認可
昭和 41 年 1 月	幼児教育学科第 1 部設置認可
昭和 41 年 2 月	幼児教育学科第 1 部保母養成施設として指定
昭和 42 年 3 月	稲沢女子短期大学附属萩原幼稚園設置認可
昭和 44 年 2 月	幼児教育学科第 3 部設置認可
昭和 47 年 2 月	幼児教育学科第 3 部保母養成施設として指定
昭和 47 年 3 月	生活デザイン科をデザイン美術科と改称
昭和 50 年 3 月	稲沢女子短期大学附属一宮東幼稚園設置認可
昭和 58 年 4 月	本館竣工記念式典举行
昭和 60 年 11 月	2 号館竣工記念式典举行
平成 2 年 3 月	家政科を生活文化学科と改称 生活文化学科第 1 部は食物栄養専攻と生活文化専攻に専攻分離
平成 5 年 4 月	3 号館竣工記念式典举行 稲沢女子短期大学を愛知文教女子短期大学に名称変更 附属幼稚園もそれぞれ愛知文教女子短期大学附属第 1 幼稚園、萩原幼稚園、一宮東幼稚園と名称変更
平成 8 年 3 月	専攻科介護福祉専攻設置認可
平成 9 年 12 月	愛知文教大学設置認可
平成 13 年 5 月	愛知文教女子短期大学創立 50 周年記念式典举行

平成 14 年 12 月	愛知文教大学大学院設置認可
平成 15 年 4 月	愛知文教大学大学院国際文化研究科修士課程設置
平成 15 年 4 月	デザイン美術科をデザインアート学科と改称
平成 16 年 11 月	愛知文教大学大学院博士後期課程設置認可
平成 17 年 3 月	生活文化学科 第 1 部 食物栄養専攻 栄養教諭免許課程 認定
平成 18 年 4 月	デザインアート学科募集停止
平成 19 年 8 月	生活文化学科 第 1 部 「特色ある大学教育支援プログラム」文部科学省 採択
平成 22 年 4 月	生活文化学科第 1 部を生活文化学科と改称
平成 22 年 4 月	愛知文教大学国際文化学部国際文化学科を人文学部人文学科に改組 愛知文教女子短期大学生生活文化学科第一部を生活文化学科に変更
平成 23 年 11 月	愛知文教女子短期大学創立 60 周年記念式典
平成 24 年 4 月	愛知文教大学大学院博士後期課程募集停止
平成 24 年 9 月	足立学園総合研究所設立
平成 27 年 3 月	専攻科介護福祉専攻廃科

(4) 学校法人足立学園の組織図（令和元年度）



(5) 設置学校の収容定員・学生数等の状況

2019年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	141	15	7	470	416
	大学院修士課程	8	1	-	-	16	2
	小計	118	142	15	7	486	418
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	66	-	-	140	164
	幼児教育学科第1部	80	85	-	-	160	167
	幼児教育学科第3部	70	72	-	-	210	246
	小計	220	223	0	0	510	577
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		-	-	-	-	360	315
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		-	-	-	-	270	246
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		-	-	-	-	207	186
計		338	365	15	7	1,833	1,742

2020年5月1日現在

学校名	学部・学科名	入学定員	入学者数	編入学定員	編入学者数	収容定員	現員
愛知文教大学	人文学部	110	132	15	5	470	463
	大学院修士課程	8	0	-	-	16	0
	小計	118	132	15	5	486	463
愛知文教女子短期大学	生活文化学科	70	75	-	-	140	140
	幼児教育学科第1部	80	65	-	-	160	147
	幼児教育学科第3部	70	89	-	-	210	262
	小計	220	229	0	0	510	549
園名						収容定員	現員
愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園		-	-	-	-	360	321
愛知文教女子短期大学附属萩原幼稚園		-	-	-	-	270	230
愛知文教女子短期大学附属一宮東幼稚園		-	-	-	-	207	159
計		338	361	15	5	1,833	1,722

(6) 役員等の状況 (2020年3月31日現在)

①役員

理事	定数	現員
	7名	7名

理事長	足立 誠	
副理事長	古山 敬子	愛知文教女子短期大学学長
理 事	富田 健弘	愛知文教大学学長
理 事	鈴木 雅之	法人本部長・財務担当
理 事(学外)	土川 清治	
理 事(学外)	加藤 愛一郎	
理 事(学外)	西尾 隆史	

監事	定数	現員
	2名	2名

監事	林 茂夫	
監事	奥村 博司	

②評議員

評議員	定数	現員
	15名～21名	15名

足立 誠	古山 敬子	富田 健弘	足立 諭	安藤 京子
立川 雄子	安井 映理子	鈴木 雅之	土川 清治	加藤 愛一郎
西尾 隆史	安藤 早苗	猪子 雅王	横井 孝夫	横山 晴一

(7)教職員の状況 (2019年5月1日現在)

学校名	本務教員	本務職員	計
法 人	0	3	3
愛知文教大学	22	17	39
愛知文教女子短期大学	35	23	58
第一幼稚園	13	2	15
萩原幼稚園	11	3	14
一宮東幼稚園	10	2	12
合 計	91	50	141

2. 事業の概要

(1) 令和元年度（平成 31 年度） 愛知文教大学 事業報告

1. 教育研究活動

1) 研究発表（3，4 年）と語学研修・留学（1，2 年）

令和元年度の大学研究の基本をアカデミアゼミ教育とした。3，4 年生全員による研究発表を課した。1，2 年生には発表見学者として参加させた。令和元年 12 月 19 日（木）実施。世界に日本文化を伝える語学ツールとして「英語」「中国語」の 2 カ国語を学ぶ。語学を身に付けるには「留学」が必要不可欠であり、短期語学研修（英語圏 2 班、中国圏 1 班）として春期 6 月、7 月に実施した。

2) IR (Institutional Research)・FD (Faculty Development)・SD (Staff Development)

2018 年度は「質の保証」タイプ 1 の選定大学を逃したので、1 年掛けて取得できるように各部署に指示した。令和元年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果、本学は「タイプ 1」で 5.2 点を取得し、選定基準 4.8 点を超え、選定された。

3) 研究活動 科研費（令和元年度）

本学教官 4 名が取得 合計 4,420,000 円（内 間接経費 1,020,000 円）

2. 交換留学生受け入れと送り出し

令和元年度交換留学生制度、(1)北京外国語大学から 2 名、本学から 2 名、(2)北京連合大学から 2 名、本学から 0 名、(3) 三江学院大学から 2 名、本学から 2 名の交換留学を実施した。

3. 教員免許更新講習会開催

本学教職課程研究センター主催の教員免許状更新講習会を開催する。

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| 1) 【必修】授業づくり・学校づくりに活かす教育の最新事情 | 77 名／募集 80 名 |
| 2) 【選択必修】学ぶ力をつけるためのキャリア教育 | 35 名／募集 40 名 |
| 3) 【選択必修】不登校問題等を見据えた学校・学校外の居場所の来し方行く末 | 44 名／募集 40 名 |
| 4) 【選択 1】主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現 | 39 名／募集 40 名 |
| 5) 【選択 2】日本語を使わないで英語を教える GDM 入門 | 23 名／募集 40 名 |
| 6) 【選択 3】学び合いの授業づくり | 40 名／募集 40 名 |
| 7) 【選択 4】わかることの意味を考える | 39 名／募集 40 名 |

受講者総数 297 人 受講料収入 2,154,000 円 支出 419,794 円 収益 1,734,206 円

4. 地域・社会活動

1) 小牧市の要請に基づき各種委員会等に委員として教員を参加させた（平成 30 年度）

①小牧市国際交流協会理事・小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会委員 富田健弘、②小牧市社会教育委員副会長・市民活動推進委員会委員 竹中 烈、③太良上池・下池公園基本計画策定検討委員会委員 鈴木雅弘、④愛知県小牧警察署国際化問題アドバイザー 辻 千春⑤小牧市民大学こまきみらい塾運営委員会委員・小牧市公共交通利用促進協議会役員 副島孝、⑥こまき市民文化財団理事 畠山大二郎

2) 小牧市の文化財啓発事業

小牧市文化財啓発事業調査研究受託委員会（事務長 安達健治）平成 30 年度 3 回開催
年 1,000 万円の研究調査委託費を小牧市から委託する。

(1) 小牧市歴史文化基礎講座を開催しました。

6月29日(土) 戦国時代概説	歴史研究者 萩原 淳也	223 名
7月 6日(土) 小牧山以前の織田信長	同上	237 名
7月13日(土) 小牧山時代の織田信長	同上	236 名
7月20日(土) 尾張氏と古代の小牧 ～入鹿屯倉・大山廃寺・篠岡窯鉄生産	NPO ニワの里ネット 理事長 赤塚 次郎	200 名

(2) 小牧市歴史講座を開催しました。 テーマ「戦国、信長そして小牧山」

11月 2日(土) 地図から考える尾張の戦国城下町と小牧	京都大学教授 山村 亜希	239 名
11月16日(土) 戦国・織豊期の軍隊編成と明智光秀軍法	名城大学非常勤講師 長屋 隆幸	217 名
11月23日(土) 明智光秀と本能寺の変	三重大大学教授 藤田 達生	227 名
12月 7日(土) 織田信長と松永久秀	天理大学准教授 天野 忠幸	188 名
12月14日(土) 小牧山から岐阜・安土へ続く点と線	城郭研究家 加藤 理文	228 名

(3) 小牧の伝統食講座を開催しました。

- ① 夏休み親子食講座 8月 4日 参加定員 20名 当日の参加者 18名
講師 郷土料理研究家・栄養士 志村 八寿江
- ② 小牧の郷土食講座 10月27日(日) 参加定員 20名 当日参加 18名
講師 郷土料理研究家・栄養士 志村 八寿江
箱寿司や里芋を使ったぼた餅など小牧の郷土食を調理し食体験した

(4) 小牧市古文書講座を開催しました。

令和2年1月 11日・18日・25日・2月 1日の土曜日
講師(初級) 酒向道夫(中級) 藤堂修一 初級(入門)と中級(実践)に分けて、各4回
募集人員 初級20名 中級40名

(5) 小牧市文化財巡りを開催しました。

「小牧市文化財地図」(訪ね歩きマップ)を片手に篠岡地区を実際に歩き文化財を見て回る。
令和元年 11月 9日(土) 定員30名 参加者 25名+委員・関係者 8名 合計 33名
上末地区の八幡社、上末城址、陶昌院、貴船神社をめぐりながら経路上の文化財を紹介。
案内人 篠田 徹はじめ文化財地図作成委員 5名 講師 郷土史研究家 落合善造

(6) 小牧市古文書(江崎家関連文書)調査を2カ年継続で実施しました。

小牧市古文書調査委員会を 8名で組織。毎週木曜日 13:30~15:00 愛知文教大学にて

(7) 信長文庫の収集・整理について

織田信長、小牧山城、小牧・長久手の戦いに関する史・資料を 28冊収集整理し、34冊の出版物を確認しました。

※9月 3日(火)および 13日(金)に現在までに収集した全ての書籍および文書(江崎家文書は除く)や錦絵などを小牧市図書館に移管しました。

3) 小牧市学習チューター制度等への協力

小中学校の学習支援を行う。

4) 地域交流事業として近隣団地で開催された小牧市民祭に参加

学生がボランティアとして参加

5) 小牧市国際交流協会の事業への協力

「国際こども教室」、「ワールドレストラン」「スポーツ交流会」「国際交流ふれあいフェスタ」にボランティアとして学生が参加する。小牧市協働推進課とNPO法人小牧市市民活動ネットワークが開催した「こまき市民活動祭」に参加する。

5. 高大連携

本学提携高校との連携事業を実施する。以下の15校と提携中。

①愛知真和学園愛知啓成高等学校、②大成高等学校、③愛知県立愛知商業高等学校、④名古屋市立名古屋商業高等学校、⑤愛知県立一宮商業高等学校、⑥愛知県立中川商業高等学校、⑦愛知県立南陽高等学校、⑧愛知県立春日井商業高等学校、⑨愛知県立岡崎商業高等学校、⑩愛知県立瀬戸北総合高等学校、⑪高松学園伊那西高等学校、⑫愛知県立半田商業高等学校、⑬愛知県立津島北高等学校、⑭愛知県立犬山南高等学校、⑮愛美学園啓明学館高等学校

1) 岩倉総合	外国語	2年	90分	25名	5/15	勝股
2) 伊那西	情報	2年	50分	40名	10/10	早川
3) 東海南	外国語	2年	50分	40名	11/7	西脇
4) 知立	外国語	2年	50分	20名	11/11	ミラー
5) 瑞浪	国際関係	1年	50分	45名	11/18	江口
6) 津島北	国際関係	1年	50分	100名	11/18	山本・ロサウラ

6. アジア語学研修

1) 英語研修

令和元年度は IDEA Education (IDEA ENGLISH SVCS. INC IDEA CEBU Campus) にて実施しました。人数が多いため2班編制で行った。第1班は6月16日(日)から6月29日(土)1年生28名、第2班は6月23日(日)から7月6日(土)1年生28名が2週間の語学研修を行った。

2) 中国語研修

台湾師範大学に6月23日(日)から7月6日(土)1年生33名が2週間の研修を行った。

7. 2019年度本学からの留学先(提携大学)

- ①オーストラリア: Bond university English Language Institute 2名
- ②カナダ: University of Victoria English Center 1名
ELS Language Centers 1名
- ③アメリカ: Fairmont State University ESL 1名
- ④中国: 北京外国語大学 3名、三江学院 2名
- ⑤台湾: 国立台湾師範大学 1名

8. 2019年海外提携大学からの訪問

- ①中国 三江学院大学学長一行3名の訪問があった。

平成31年4月11日名古屋駅近郊にて理事長、法人本部長と共に6名で懇親会を開催した。

- ②Fairmont State University 国際交流責任者アマンダさんが来学

令和元年6月2日(日)岐阜羽島富田邸でおもてなし

- ③タイ スアン・ドゥーシット大学 スラポール学長来学

令和元年7月17日(水)大学にて理事長、事務局長、その他で歓迎した。

理事長からスラポール学長へ伊勢型紙の額をプレゼント

以 上

1・将来構想基本計画

ブランドビジョン「ひとを想う挑戦」を念頭に置いて以下の事業を推進

- ① 中期計画アクションプラン（2016～2020）の見直しと推進
 - ・ 中長期計画コンペの実施（2020年2月5日）全教職員対象
13件の提案を参考に、次期（2021～2026）計画を作成
 - ・ 70周年にあたる2021年に向けて記念事業の計画を策定
- ② 2022年短期大学基準協会第三者評価（第3期認証評価）受審に向け教育改革の推進
愛知文教女子短期大学外部評価委員会の実施

別添資料1

2・重点事業

- ① 私立大学研究ブランディング事業（4年目・最終年）の実施
 - ・ 研究・教育関連事業実施 8件
 - ・ ホームページの作成
短期大学 HP の全面リニューアル
私立大学研究ブランディングサイト「はっぴーと」の更新
 - ・ 学内施設設備の拡充・全学 Wi-Fi 化工事の実施
 - ・ 「みんないっしょのクリスマス 2019」の開催（連続 17 年継続事業）
12 月 7 日（土）食物アレルギーのある子どもと家族 67 名参加
- ② 少子化に対応した学生募集の強化
 - ・ 大学広報用動画の作成・・・15 秒・30 秒 2 編制作
- ③ 教職員の資質向上
 - ・ SD・FD 研修会 3 回実施（6 月 26 日・8 月 30 日・2 月 26 日）
 - ・ 研究体制の整備
教育環境の整備
耐震補修工事の実施 1 号館外壁耐震工事終了
修学支援のための施設改修 学生食堂出入口 2 か所 2 号館 3 階パウダールームの設置

別添資料2

3・「地域に根差した短期大学」への取組み

- ① 足立学園総合研究所 48 講座実施 参加者数延べ 971 名
Adachi fashion academy 春期講座・秋期講座
いなざわコミュニティーカレッジ
 - ・ いなざわサマーカレッジ 2019（子どもゆめ基金にて実施）
 - ・ キッズデザイナースクール 2019（子どもゆめ基金にて実施）
 - ・ 稲沢市との連携講座
 - ・ 地域連携事業
- ② 学科の特色を活かした取組
 - ・ 幼児教育学科
文教おやこ園の実施 年間来園者 4061 名（2 月末） 新聞掲載 2 件、TV3 件

第 11 回文教子どもフェスタの開催（連続 11 年継続事業） 来場者 約 550 名

・食物栄養専攻

食育講座「めざせ！ちびっこシェフ」（連続 16 年継続事業）

6 月 22 日、2 月 1 日 参加者 合計 45 名

「第 12 回おいしい笑顔！野菜レシピコンテスト」（連続 12 年継続事業）

応募総数 401 件 11 月 9 日（大学祭）にて最終審査会開催

・生活文化専攻

職業実践力育成プログラム (BP) による社会人教育 (2019 年度メディカルコース 1 名)

高齢者福祉施設における七夕茶会の開催 7/1 実施（連続 9 年継続事業）

地域産業との協働プログラムの推進

稲沢農業民泊プロジェクト 他 3 件

別添資料 3

③ 稲沢市との連携事業（連携に関する包括協定に基づく事業）

（1）地域のまちづくりの推進にかんすること 7 事業

（2）地域産業・経済の振興に関すること

（3）健康・福祉に関すること 1 事業

（4）子育て支援に関すること 3 事業

（5）教育・文化の振興、生涯学習に関すること 7 事業

（6）人材育成に関すること 3 事業

（7）その他

合計 21 事業

別添資料 1

愛知文教女子短期大学外部評価委員会規程

(設置)

第1条 愛知文教女子短期大学（以下「本学」という。）に、愛知文教女子短期大学の組織及び教育・研究・社会貢献等の諸活動に関する外部評価を行うため愛知文教女子短期大学評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学における自己点検・評価活動の客観性・妥当性を高め、本学の教育・研究・社会貢献等の諸活動の質を保証し、更なる改善・向上に資することを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者のうちから学長が選考し、委嘱する。

- (1) 本学の所在する地域の企業関係者。
- (2) 本学に所在する自治体関係者。
- (3) 本学の所在する地域の高等学校長。
- (4) 短期大学等の教育機関の教員。
- (5) 前各号に定める者以外に、短期大学に関して広くかつ高い見識を有する者。
- (6) 本学に在籍する教職員又は本学に在職した経験を有する者。

2 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 委員長は委員の中から学長が指名する。

(職掌事項)

第4条 委員会は、愛知文教女子短期大学自己点検評価委員会が行う自己点検・評価活動に関する評価を行う。

2 委員会は、前項の評価の結果を愛知文教女子短期大学自己点検評価委員会に報告する。

(運営)

第5条 委員会は、学長の要請に応じて委員会を招集し、委員長が議長となる。

2 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

3 委員会は、審議のため必要があるときは、関係部署に対して資料の提出を求めることができる。

(事務)

第6条 委員会事務は、学務課が行う。

(補足)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、令和2年1月15日から施行する。

別添資料 2

私立大学研究ブランディング事業

・学会発表（5 件）

- 5 月 日本保育学会第 72 回大会「保育者が感じる食物アレルギー対応の困難さ」 田村佳世
9 月 第 3 回栄養教諭食育研究大会「米粉の粒子径による品質への影響」 有尾正子
9 月 第 66 回日本栄養改善学会学術総会「保育現場における食物アレルギー対応の実態—安全で効率のよい食事提供に向けて—」 小野内初美
9 月 第 66 回日本栄養改善学会学術総会「保育所内の食物アレルギー対応における職種間連携の実態と養成施設への教育ニーズ」 西澤早紀子
12 月 The 10th Forum on Studies of Environmental and Public Health Issues in Asian Mega-cities 「Effect of cleaning methods at the Food Management Practice Room on Allergens removal」 渡辺香織

・研修会の実施

- ① 8 月 19 日～21 日 愛知県保育士等キャリアアップ研修会 参加数 132 名
会場 本学 担当：渡辺香織 小野内初美 有尾正子 田村佳世 西澤早紀子
② 11 月 19 日 稲沢市子ども健康部保育課主催 保育士食物アレルギー研修会
会場：本学 担当：田村佳世、渡辺香織 参加者：50 名

・テキストの作成

食物アレルギー対応に関する養成施設向け教科書となる書籍を執筆、出版
書名：「保育の現場で役立つ食物アレルギー対応—職種間連携から考える—」
執筆者：朴 賢晶、小野内初美、渡辺香織、有尾正子、西澤早紀子、田村佳世、菊池 遥、
伊藤久美子
出版社：建帛社 （令和 2 年 7 月 出版予定）

・外部研究費獲得

2020 年度女性研究者奨励金（日本私立学校振興・共済事業団）
田村佳世（幼児教育学科）
テーマ「食物アレルギー対応に関する保育者の思いと課題」

別添資料 3

新聞掲載記事一覧 2019年(平成31年・令和1年)～2020年(令和2年)				
	H31年度・R1年度			
1	2019/6/18	火	中日新聞	音楽+朗読 絵本ケア実践本
2	2019/6/29	土	中日新聞	アレルギー対応 動物弁当できた 文教女子短大生ら共同開発
3	2019/7/7	日	中日新聞	音楽に乗せて朗読「絵本ケア」普及に励む
4	2019/8/1	木	中日新聞	稲沢に根付け「農家民泊」 愛知文教女子短大の学生と連携
5	2019/8/10	土	毎日新聞	働くママ、パパのための再始動
6	2019/10/6	日	中日新聞	「孤育て」なくし保育士養成 稲沢・愛知文教女子短大「おやこ園」取り組み3周年
7	2019/10/10	木	中日新聞	祖父へ想い重ねて
8	2019/10/12	土	中日新聞	詩人・佐藤一英の足跡の光
9	2019/10/31	木	中日新聞	子育てや防犯市長に提案 稲沢の愛知文教女子短大1年生
10	2019/11/5	火	毎日新聞	楽しい子育てサポート
11	2019/11/6	水	中日新聞	来月、愛知文教女子短大でアレルギー対応食Xマス会
12	2019/11/13	水	中日新聞	稲沢とギリシャ深い関係を紹介 ホストタウン縁にシンポ
13	2019/11/25	日	中日新聞	南陽高の清水さん最高位 稲沢で野菜レシピコンテスト
14	2019/11/27	水	中日新聞	園児に手洗い指導
15	2019/12/11	水	中日新聞	アレルギーも安心 子どもたちに料理 稲沢、短大生が提供
16	2019/12/18	水	中日新聞	一宮絵本ケア 物語の世界ピアノと共に
17	2019/12/22	日	中日新聞	親子と学生 楽しく演奏 稲沢 愛知文教女子短大でコンサート
18	2019/12/24	火	中日新聞	名文理大・瀬口さんに最優秀 稲沢市の高血圧予防標語
	R2年度			
19	2020/1/17	金	中日新聞	桜グルメ平和町の味に 商工会 愛知文教女子短大生がメニュー
20	2020/1/19	日	中日新聞	キャンパスを開放しこどもフェスタ開催

3. 財務の概要

(1) 資金収支計算書の推移

(単位:千円)

科 目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,072,120	1,169,238	1,205,889
	手数料収入	15,681	19,843	21,580
	寄付金収入	14,023	12,598	16,806
	補助金収入	335,971	289,590	307,705
	資産売却収入	13,139	472	264
	付随事業・収益事業収入	87,944	79,416	85,705
	受取利息・配当金収入	15,185	15,539	15,544
	雑収入	95,382	91,360	117,328
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	399,488	414,383	420,235
	その他の収入	612,832	606,525	568,882
	資金収入調整勘定	△ 411,354	△ 422,953	△ 464,969
	前年度繰越支払資金	1,005,385	1,059,209	1,155,596
	合 計	3,255,796	3,335,220	3,450,565
支出の部	人件費支出	895,791	891,253	954,100
	教育研究経費支出	341,908	353,412	396,441
	管理経費支出	289,878	270,120	335,924
	借入金等利息支出	22	19	16
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	55,991	27,617	36,509
	設備関係支出	80,370	30,153	32,851
	資産運用支出	114,000	114,000	0
	その他の支出	535,074	554,917	530,527
	資金支出調整勘定	△ 116,447	△ 61,867	△ 105,472
	翌年度繰越支払金	1,059,209	1,155,596	1,269,669
	合 計	3,255,796	3,335,220	3,450,565

(2) 事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目			平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,072,120	1,169,238	1,205,889
		手数料	15,681	19,843	21,580
		寄付金	15,946	13,770	18,002
		経常費等補助金	311,839	289,590	307,705
		国庫補助金	209,121	186,847	200,273
		地方公共団体補助金	102,718	102,743	107,432
		付随事業収入	87,944	79,416	85,705
		雑収入	94,700	91,360	117,329
		教育活動収入計	1,598,230	1,663,217	1,756,210
	事業活動支出の部	人件費	892,686	910,762	942,061
		教育研究経費	481,402	502,560	547,443
		管理経費	312,144	292,125	359,156
		徴収不能額等	4,608	415	1,495
		教育活動支出計	1,690,840	1,705,862	1,850,155
教育活動収支差額		△ 92,610	△ 42,645	△ 93,945	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	15,185	15,539	15,544
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	15,185	15,539	15,544
	事業活動支出の部	借入金等利息	22	19	16
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	22	19	16
教育活動外収支差額		15,163	15,520	15,528	
経常収支差額		△ 77,447	△ 27,125	△ 78,417	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	8,946	229	120
		その他の特別収入	29,022	4,594	5,808
		特別収入計	37,968	4,823	5,928
	事業活動支出の部	資産処分差額	17,069	397	1,471
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	17,069	397	1,471
	特別収支差額		20,899	4,426	4,457
基本金組入前当年度収支差額		△ 56,548	△ 22,699	△ 73,960	
基本金組入額合計		△ 87,904	△ 83,445	△ 29,536	
当年度収支差額		△ 144,452	△ 106,144	△ 103,496	
前年度繰越収支差額		△ 3,787,279	△ 3,923,425	△ 4,029,570	
基本金取崩額		8,306	0	16,689	
翌年度繰越収支差額		△ 3,923,425	△ 4,029,569	△ 4,116,377	
(参考)					
事業活動収入計		1,651,383	1,683,579	1,777,682	
事業活動支出計		1,707,931	1,706,278	1,851,642	

(3) 活動区分資金収支計算書の推移

(単位:千円)

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
による教育活動資金収支	教育活動による資金収入計	1,596,308	1,662,045	1,755,013
	教育活動による資金支出計	1,527,578	1,514,786	1,686,465
	差引	68,730	147,259	68,548
	調整勘定等	59,372	6,616	△ 4,665
	教育活動資金収支差額	128,102	153,875	63,883
による施設整備等資金収支活動	施設設備等活動資金収入計	24,331	229	120
	施設設備等活動資金支出計	136,360	57,770	69,360
	差引	△ 112,029	△ 57,541	△ 69,240
	調整勘定等	6,353	△ 18,075	△ 2,524
	施設設備等活動資金収支差額	△ 105,676	△ 75,616	△ 71,764
小計(教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額)		22,426	78,259	△ 7,881
によるその他の活動資金収支	その他活動資金収入計	622,304	572,587	562,599
	その他活動資金支出計	590,745	554,459	440,645
	差引	31,559	18,128	121,954
	調整勘定等	△ 161	0	0
	その他活動資金収支差額	31,398	18,128	121,954
支払資金の増減額		53,824	96,387	114,073
前年度繰越支払資金		1,005,385	1,059,209	1,155,596
翌年度繰越支払資金		1,059,209	1,155,596	1,269,669

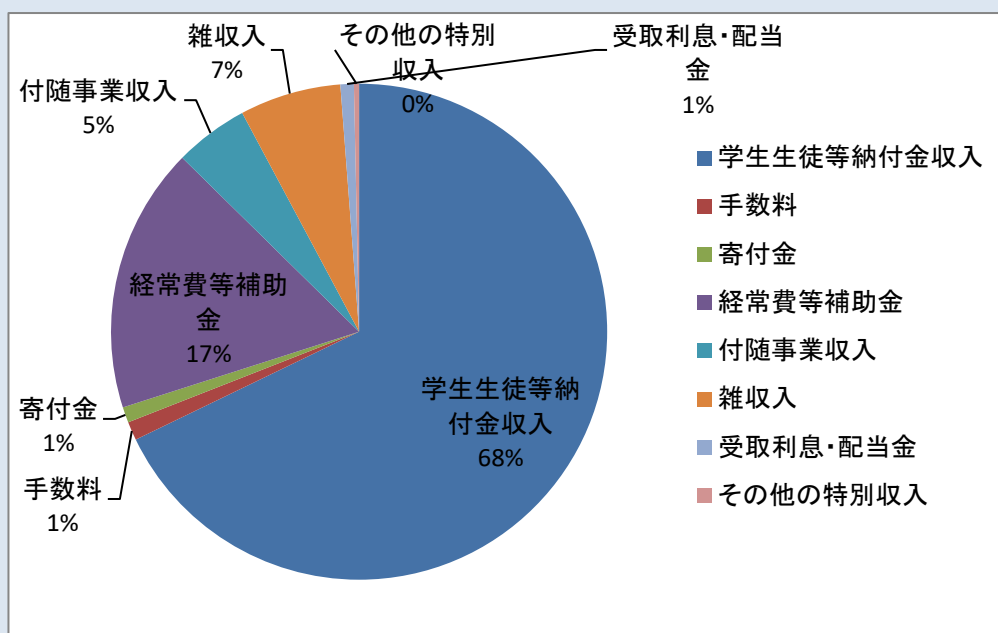
(4) 貸借対照表の推移

(単位:千円)

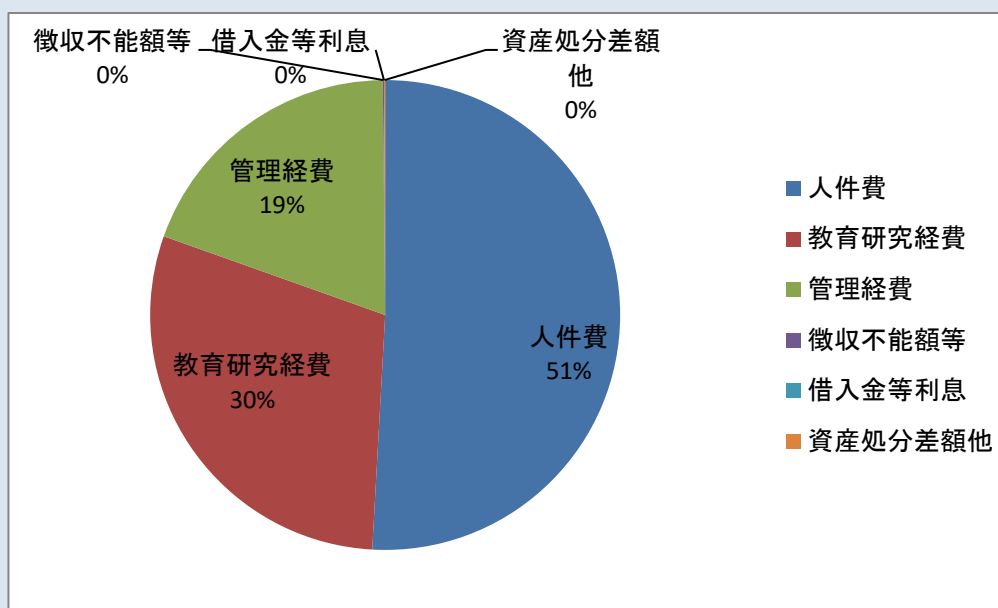
資 産 の 部			
科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固 定 資 産	9,076,253	8,967,401	8,753,374
有形固定資産	8,189,553	8,080,855	7,981,247
特定資産	164,000	164,000	50,000
その他の固定資産	722,700	722,546	722,127
流 動 資 産	1,112,171	1,180,443	1,321,707
合 計	10,188,424	10,147,844	10,075,081
負 債 の 部			
科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
固 定 負 債	427,047	416,445	379,433
流 動 負 債	538,922	531,643	569,852
合 計	965,969	948,088	949,285
純 資 産 の 部			
基 本 金	13,145,880	13,229,326	13,242,173
繰越収支差額	△ 3,923,425	△ 4,029,570	△ 4,116,377
純資産の部合計	9,222,455	9,199,756	9,125,796
負債及び純資産の部合計	10,188,424	10,147,844	10,075,081

(5) 令和元年度 事業活動収入及び支出の構成比

《事業活動収入の構成比率》



《事業活動支出の構成比率》



(6) 主な財務比率の推移

事業活動収支計算書関係比率

比率名	算 式 (×100)	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人件費比率	人件費/経常収入	55.3%	54.3%	53.2%
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	83.3%	77.9%	78.1%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	29.8%	29.9%	30.9%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	66.5%	69.6%	68.1%
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額/教育活動収入計	-5.8%	-2.6%	-5.3%
補助金比率	補助金/経常収入	20.3%	17.2%	17.3%

経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

貸借対照表関係比率

比率名	算 式 (×100)	平成29年度	平成30年度	令和元年度
純資産構成比率	純資産/(負債+純資産)	90.5%	90.7%	90.6%
流動資産構成比率	流動資産/総資産	10.9%	11.6%	13.1%
流動比率	流動資産/流動負債	206.4%	222.0%	231.9%
総負債比率	総負債/総資産	9.5%	9.3%	9.4%

(7) 財務諸表の説明

学校法人は「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度以降の会計年度より学校法人が作成しなければならない計算書類は下記のとおり変更がありました。

資金収支計算書には新たに活動区分資金収支計算書が加わりました。

消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書に変更され、様式も大きく変更されました。

貸借対照表はその他の固定資産に含まれていた引当特定資産を特定資産として分離し、固定資産は有形固定資産、特定資産、その他の固定資産に区分される。また、従来の基本金の部、消費収支差額を合わせて純資産の部となりました。

資金収支計算書	当該会計年度の学校の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、支払資金(現金及び預貯金)の顛末を表すもの
	収入には学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産売却、前受金等が計上され、支出では、人件費、教育研究経費、管理経費、施設関係等が計上
	資金収支計算書を活動区分(教育活動による資金収支、施設整備等活動による資金収支、その他の活動による資金収支)ごとに区分し、活動ごとの資金の流れを明らかにするもの
	当該会計年度の事業活動ごとの成果を明らかにするために、収支を経常的な収支と臨時的な収支とに区分するもの
事業活動収支計算書	経常的な収支とは、本業の教育研究活動における経常的な収支を示す教育活動収支と受取利息・配当金や借入金等利息等の財務的な活動として教育外収支とに分ける
	臨時的な収支は、特別収支として資産売却差額、資産処分差額等の臨時的に発生した収支を示す

(8) 企業会計との比較

企業は業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し社会に貢献できる人材の育成を目的としています。具体的には、企業会計においては、損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業収支活動計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提として、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。

	企業	学校
損益を表すもの	損益計算書	事業活動収支計算書
資金の動きを表すもの	キャッシュフロー計算書	資金収支計算書 活動区分資金収支計算書